

男女共同参画ニュースレター

男女共同参画推進委員会

アクションプランの策定について

男女共同参画推進のための基本理念と基本方針にもとづき、下記のアクション・プランを策定しました。平成26年度末までの実現をめざします。ホームページにも掲載しています。

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/actionplan/>

(1) 環境整備

- a. 終業時刻後に会議を原則として開催しない。
- b. 教職員向けの休養室を整備する。
- c. 大学に学生向けの休憩室を整備する。

(2) 意識啓発

- a. 人権委員会で実施している新規採用者・転入者研修において、男女の人権に対する意識啓発を行う。
- b. 残業の削減、有給休暇の取得率向上に関する研修会を全教職員に対して行う。

(3) 教育・研究

- a. 大学において「ジェンダー論」、「人権と法」、「人権問題論Ⅰ」、「性倫理と性教育」など、男女共同参画に関連する授業科目の内容を充実させる。
- b. 大学において学部科目「人権問題論Ⅰ」を学科・センターでの分担実施とし、全学的・組織的な教育体制に移行する。
- c. 附属図書館に「男女共同参画コーナー」の設置を検討する。

(4) 地域連携・地域貢献

- a. 大学公式HPを通じて、本学の男女共同参画推進に関する取り組みを、より積極的に発信する。
- b. 平成25年度の京都教育大学公開講演会を男女共同参画推進に関わる年間テーマで開催する。
- c. 地域の子育て支援等のため、ふれあい伏見フェスタや藤陵祭その他事業においてキャンパス開放を積極的に実施する。
- d. 地域の子育て支援等のため、「うたとおはなしの会」を継続的に実施する。
- e. 地域の子育て支援等のため、改修後の図書館に「児童書（絵本）コーナー」を設置する。

研修会の実施について

男女共同参画推進委員会では、2013年2月18日に研修会を実施しました。

テーマ：どうする？介護

講師：北尾勝美先生（健光園あらしやま）

会場：附属桃山中学校



高齢者福祉総合施設「健光園あらしやま」（右京区）にご勤務の北尾先生は、豊富なご経験をもとに、介護のあり方についてお話してくださいました。とりわけ、認知症に焦点をあてて、「介護される側の立場に立つ」ことの重要性を指摘いただきました。

その後の質疑応答では、介護と教育の関係や、介護休業と育児休業の相違などについて質問が出されました。介護される側の立場に立つ健光園あらしやまの取り組みから、ひろく社会のあり方を考えるための示唆をいただきました。

公開講演会の実施について

今年度は、アクションプランにもとづき、地域連携・広報委員会と協力して公開講演会を実施しています。年間テーマは、「男も女も……一人ひとりが輝く生と性」です。

■第1回：「子どもの育ちと女（男）らしさ～未来の多様な幸せのために～」

講師 関口久志先生（本学教育支援センター）

日時 2013年4月13日（実施済み）

未来の多様な幸せのために求められる視点について、子育てや社会のあり方との関連を踏まえてお話しいただきました。

■第2回：「性的少数者、HIV感染者支援からみる『自分らしく生きることのできる社会』」

講師 繁内幸治先生（性感染症予防啓発ボランティア BASE KOBE 代表）

日時 2013年7月26日（金）16：30～18：00

会場 京都教育大学 藤森キャンパス F棟

授乳室の設置について



このたび、藤森キャンパスの学生会館1階に授乳室が設置されました。ぜひ、ご活用ください。

京都教育大学 男女共同参画推進委員会（担当：総務課）

【参考】<http://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/>